

平成26年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

実施団体		TGWAP (Trans Gender Woman Aids Program)
実施事業名		トランスジェンダー女性を対象としたHIV/エイズ予防啓発サイトの制作
団体代表者		宮田 良
事業の目的		大阪府在住のトランスジェンダー女性に向けて、当事業において制作されたwebサイト内のHIV/エイズ予防啓発に関する情報を届けることで、HIV/エイズに対する意識を高めるとともに、セーファーセックスやヘルスサービス(HIV抗体検査含む)へのアクセス促進を目指す。
事業の達成度		トランスジェンダーの健康に関するコラムや、性感染症の症状および治療、セーファーセックスのセックスの方法、検査施設や関連エイズNGOへのリンクなど、トランスジェンダーのセクシュアルヘルス増進のためのコンテンツが詰まったwebサイトの設置が完了した。 さらに、広報ポストカードを、「MSMのHIV感染症予防啓発のためのコミュニティセンター」や「GID(性同一性障害)学会」の資料コーナーに置いたり、大阪府内のニューハーフ(トランスジェンダー女性の商業的呼称)が働く商業施設に配布に行くなどして、当サイトの周知活動も始めることができた。 現在は、コンテンツをさらに充実させるため、トランスジェンダーの健康問題に詳しい当事者や医療者などに声をかけ、コラムの執筆を依頼、今後の定期更新に向けて交渉している段階である。
事業実績	対象となった人数	4,000人
	具体的な活動内容	<p><2014年5月> サイトのコンテンツを充実させるため、HIV感染症予防啓発に関わってきたエイズNGOの知人や、トランスジェンダー女性の当事者たちと相談しながら、どんな内容にするかの相談を始めた。</p> <p><2014年7月> 第20回国際エイズ会議(メルボルン)に参加し、アジア最大規模のトランスジェンダー・ネットワーク組織である「APTNet(Asia Pacific Transgender Network)」メンバーらとミーティングを行った。そして、すでにトランスジェンダーの人々を対象としたHIV感染症予防啓発のためのWebサイトを構築し運営している人たちに、その実践例やグッドプラクティス、気を付けるポイントなどについて教わった。</p> <p><2014年10月> これまで集めたり議論した情報をもとに、Webサイトの制作を開始した。コンテンツは、セーファーセックスの具体的な図説が掲載された「How to Safer Sex」、トランスジェンダーの健康について、当事者や支援者が毎月コラムを更新する「トランスコラム」、HIVをはじめとする性感染症の感染経路・予防・検査・症状・治療などの情報が掲載された「性感染症について」、検査施設やエイズNGO、当事者コミュニティなどの情報が掲載された「リンク」に絞り、情報収集や執筆、コーディング作業を進めていった。</p> <p><2014年12月-2015年3月> 「日本エイズ学会」や「GID(性同一性障害)学会」にて、エイズ対策においてトランスジェンダーの対策がほとんど存在していない一方で、当該集団がHIV性感染症をめぐり他の個別施策層同様に脆弱な状況に置かれており、エイズ対策が急務であることを指摘するとともに、そうした問題解決のためのひとつとして、当サイトを作ったことを説明した。また、広報ポストカードなどを用いて、当サイトの広報活動を開始した。</p> <p>※サイト情報 ・サイト名: トランスヘルスジャパン ・アドレス: http://transjapan.net/</p>